

長岡崇徳大学看護学部は、建学の理念に基づき、それらの目的を実現するため、以下の通り「求める教員像」及び「教員組織の編成方針」を定める。

求める教員像

1. 本学の建学の理念・目的を理解し、教員としての職務と責任を真摯に自覚し実践する者
2. 看護に関する豊富な実務経験を有し、各職位にふさわしい教育実績、研究業績、大学運営及び社会貢献活動の実績を有する者

教員組織の編成方針

(1) 教員組織

専門領域ごとの授業科目数及び単位数に応じて、教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績、年齢や職位を配慮した教員組織を編成する。保健師養成課程を選択制でおき、地域包括ケアシステムに基づく看護教育の充実を図るために、実践・教育ともに豊富な保健師資格を有する教員を配置する。また、地域の健康課題に基づく看護教育の充実を図るために、災害看護、精神看護、認知症看護を専門とする教員を配置する。

(2) 教員の募集・採用・昇格

教員の募集・採用・昇格においては、所定の手続きに則った透明かつ公正で適切な人事選考を行うとともに、教員の教育研究活動等とその業績を適正に評価する。また、専任教員の退職に伴う採用人事については、他の大学の現役教員および大学院の修士課程や博士課程に在学し看護学分野を専攻している者を対象として、広く候補者を募ることとし、本学が定める教員採用にかかる審査基準に基づく厳格な審査を経て採用する。

(3) 教員資質向上・能力開発

FD・SD ポリシーに基づき、個々の教員及び組織的な活動に取組み、資質の向上や能力の開発を図る。看護学分野における教育実績を有した教員による、教育を担う者としての自覚や意識の涵養と授業技術や教材開発等の教育方法に関する能力を高めることとする。また、研究面に関する育成計画については、看護学分野における研究業績を有した教員のもとで研究活動等に豊富に接することにより、自立して研究活動を行うための研究能力の伸長を図る。

令和7年2月1日制定